

# はじめに

下野市教育研究所長 石崎 雅也

下野市教育研究所では、学校教育の向上・充実を目指し、4事業（調査研究、研修、教育相談・教育支援、資料収集・広報）を展開してまいりました。市内小・中・義務教育学校の御協力のもと、各研究部及び各校からの研究報告がまとまり、今年度も「研究集録第19号」を刊行することができました。

本集録では、「小中一貫教育研究」「全国学力・学習状況調査結果、とちぎっ子学習状況調査結果の分析と改善策の研究」「全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果の分析と改善策の研究」について、調査研究を行った成果や課題をまとめております。また、各校からの研究報告として、学校課題に対する研究実践についての概要を掲載いたしました。このような児童生徒に成長させたいという全職員の願いを基に、各校の課題解決に向けた研究に教職員一人一人が携わっていただけたことを確信しております。

さらに、S&Uコラボ事業（下野市と宇都宮大学共同教育学部との連携研修事業）による授業研究会、とちぎっ子学力アッププロジェクト（学力向上推進事業）等と連携し、各校独自の研究も進んでおります。各校がPDCAサイクルを活用し、充実した活動がなされたことを再確認いたしました。

先生方におかれましては、本研究集録を、自校の研究実践の振り返りとしてだけでなく、他校の研究の取組や成果から学ぶとともに、各校において次年度の授業改善や研究推進に大いに役立てていただきたいと思います。

今年度も、各校においては様々な工夫や努力により、本研究集録にもあるような多くの実践が行われました。市教育研究所といたしましても、本年度の事業を振り返り、次年度も学校や地域とより強く連携して、下野市の学校教育の充実に寄与できるように努めてまいりますので、今後とも御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、研究集録の作成に際しまして、調査研究や実践、そして執筆編集に当たられた関係者の御尽力・御協力に対し、心から感謝を申し上げます。

令和8年3月